

結果の概要

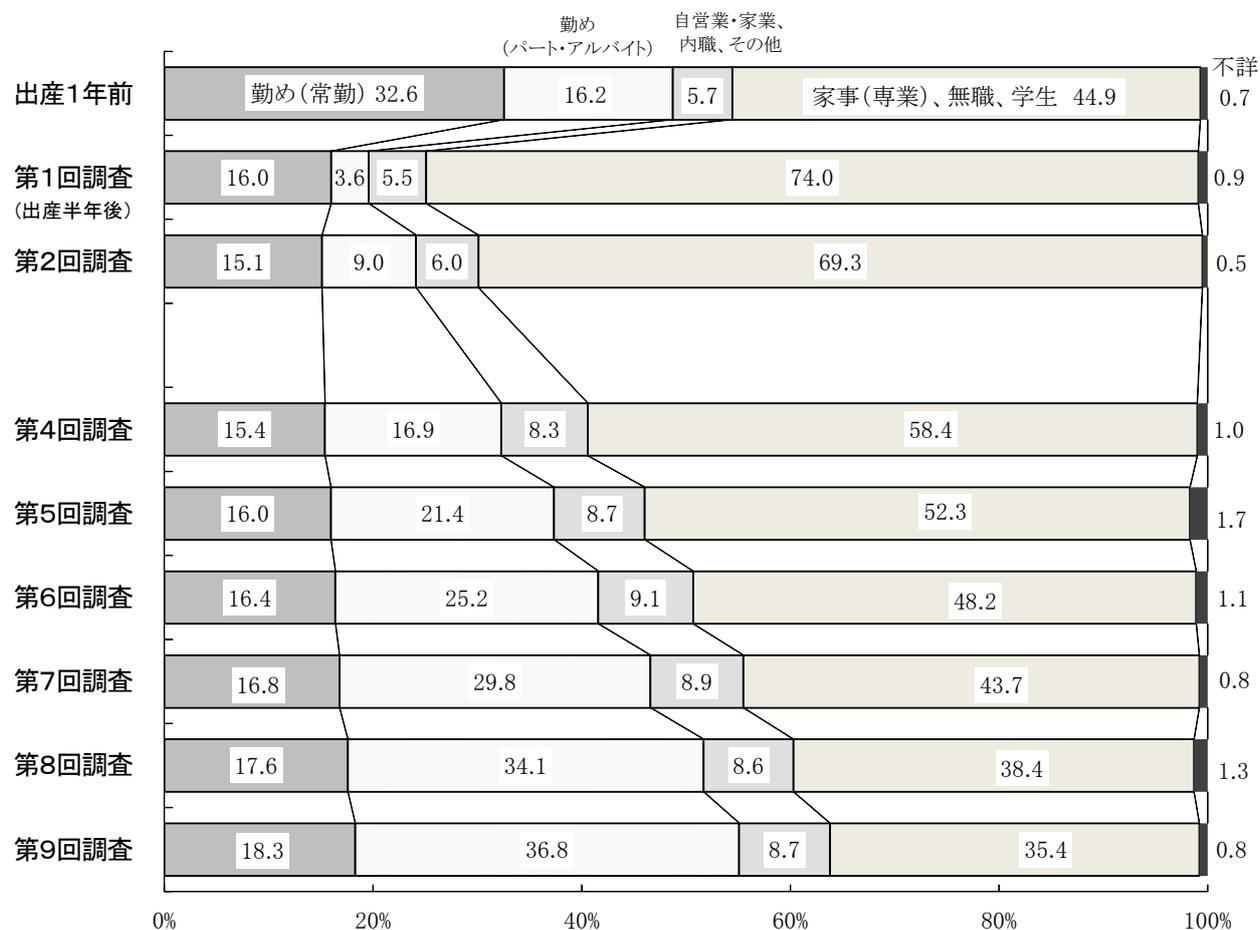
1 対象児の家庭・家族の状況

(1) 母の就業状況

「常勤」の母は変化がなく、「パート・アルバイト」の母は年々増加。

母の就業状況の変化をみると、「パート・アルバイト」は、第1回調査（出産半年後）（3.6%）から第9回調査（36.8%）まで年々増加している。一方、「常勤」の割合は、第1回調査（出産半年後）以降大きな変化はみられず、第9回調査では18.3%となっている。（図1）

図1 母の就業状況



注: 1) 第1回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,320)のうち、ずっと「母と同居」の者(総数 30,847)を集計。
2) 第3回調査は母の就業状況を調査していない。

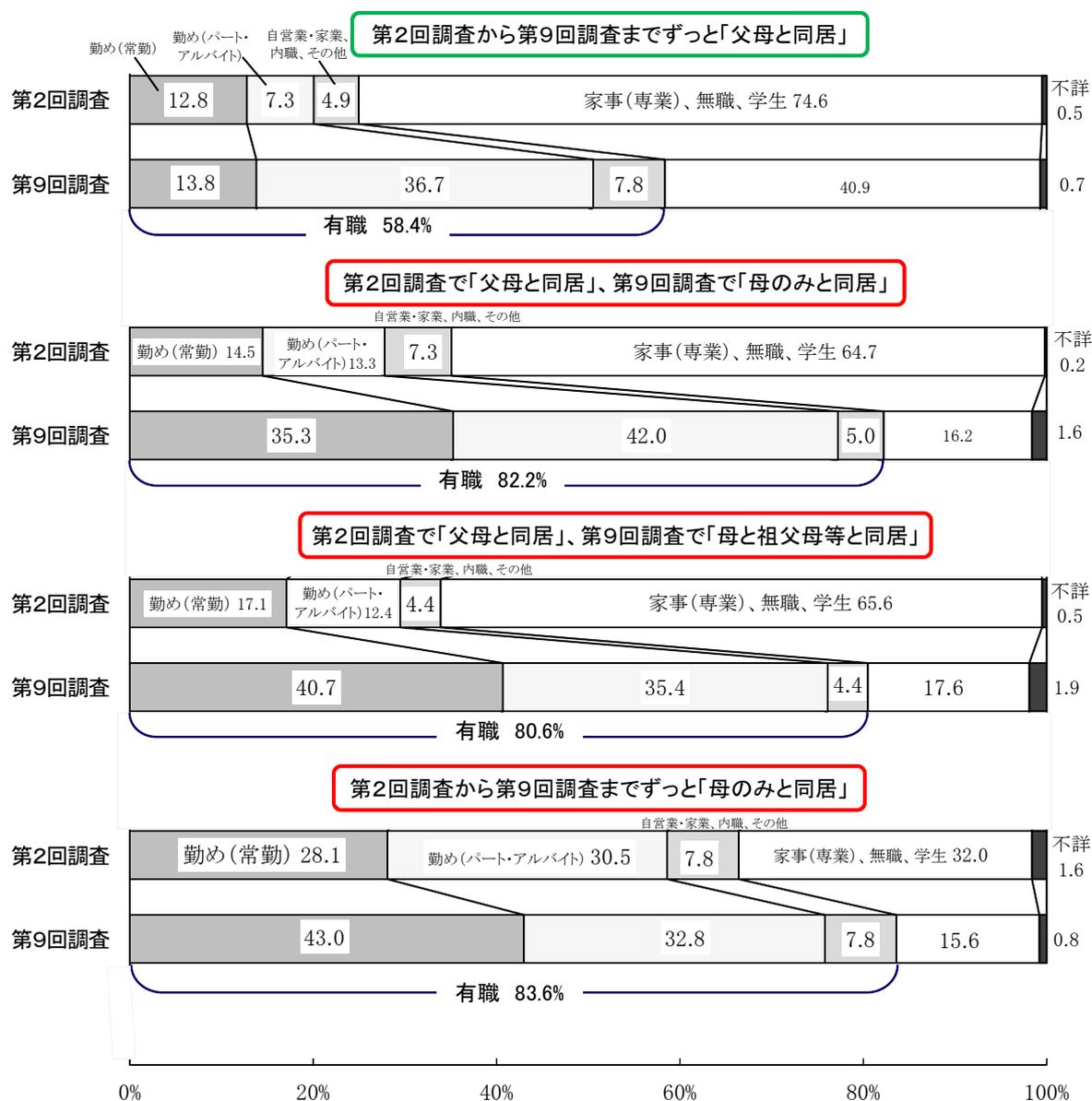
(2) 同居者構成別にみた母の就業状況

対象児の母の「常勤」の割合の変化をみると、第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合は12.8%から13.8%と微増。第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、14.5%から35.3%と大幅に増加。

第2回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に第9回調査の母の就業状況をみると、第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合の「有職」の割合は6割弱であるが、第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると8割を超えている。

さらに「常勤」の割合の変化をみると、第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合は12.8%から13.8%とその差は1ポイントと微増であるのに対し、第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、14.5%から35.3%と大幅に増加している。(図2)

図2 第2回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた母の就業状況



注: 第2回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,320)のうち、集計客体は以下のとおりである。

第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 19,235)を集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみ同居」の者(総数 963)を集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者(総数 427)を集計。

第2回調査から第9回調査までずっと「母のみ同居」の者(総数 128)を集計。

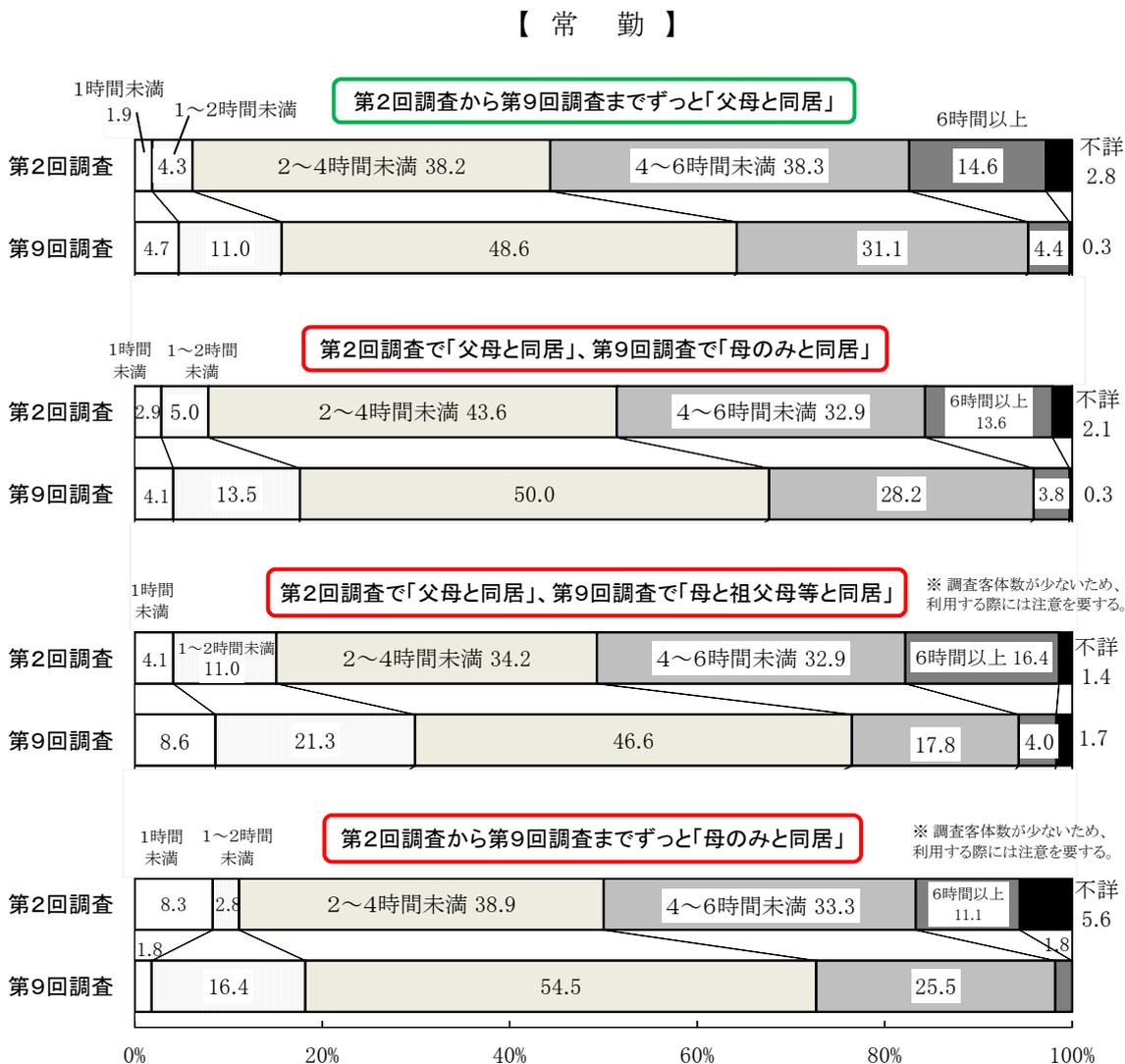
(3) 母が子どもと過ごす時間

平日に母が対象児と一緒に過ごす時間をみると、「常勤」の方が「パート・アルバイト」に比べて短くなっている。

第2回調査と第9回調査の対象児の母の就業状況、同居者構成別に平日に母と一緒に過ごす時間をみると、「常勤」では第2回調査、第9回調査ともに「2～4時間未満」の割合が多くなっている。一方、「パート・アルバイト」をみると、第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」と第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の場合では第2回調査で「6時間以上」、第9回調査では「4～6時間未満」の割合が多くなっている。「常勤」、「パート・アルバイト」とも同居者構成による大きな違いはみられない。

また、第2回調査、第9回調査ともに「常勤」の方が「パート・アルバイト」に比べて平日に母と一緒に過ごす時間は短くなっている。(図3)

図3 第2回調査と第9回調査の対象児の母の就業状況、同居者構成別にみた平日に母と一緒に過ごす時間



注: 1) 第2回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,320)のうち、第2回調査と第9回調査の「常勤」をそれぞれ集計。集計客体は以下のとおりである。

第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者: 第2回調査(総数 2,466)、第9回調査(総数 2,661)をそれぞれ集計。

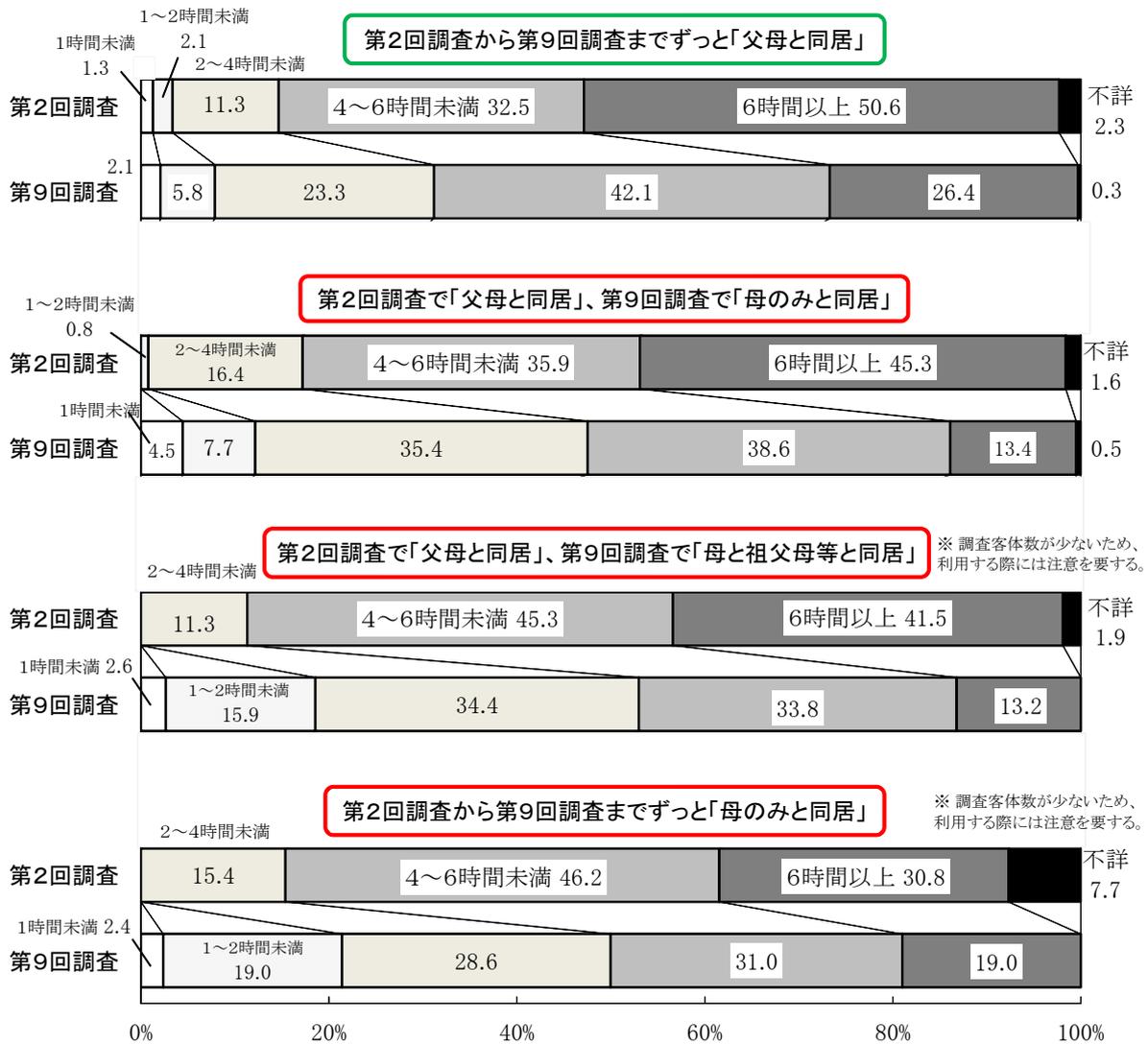
第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者: 第2回調査(総数 140)、第9回調査(総数 340)をそれぞれ集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者: 第2回調査(総数 73)、第9回調査(総数 174)をそれぞれ集計。

第2回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者: 第2回調査(総数 36)、第9回調査(総数 55)をそれぞれ集計。

2) 「1時間未満」には、母と過ごす時間の「なし」を含む。

【パート・アルバイト】



注: 1) 第2回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,320)のうち、第2回調査と第9回調査の「パート・アルバイト」をそれぞれ集計。集計客体は以下のとおりである。

第2回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者: 第2回調査(総数 1,402)、第9回調査(総数 7,067)をそれぞれ集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者: 第2回調査(総数 128)、第9回調査(総数 404)をそれぞれ集計。

第2回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者: 第2回調査(総数 53)、第9回調査(総数 151)をそれぞれ集計。

第2回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者: 第2回調査(総数 39)、第9回調査(総数 42)をそれぞれ集計。

2) 「1時間未満」には、母と過ごす時間の「なし」を含む。

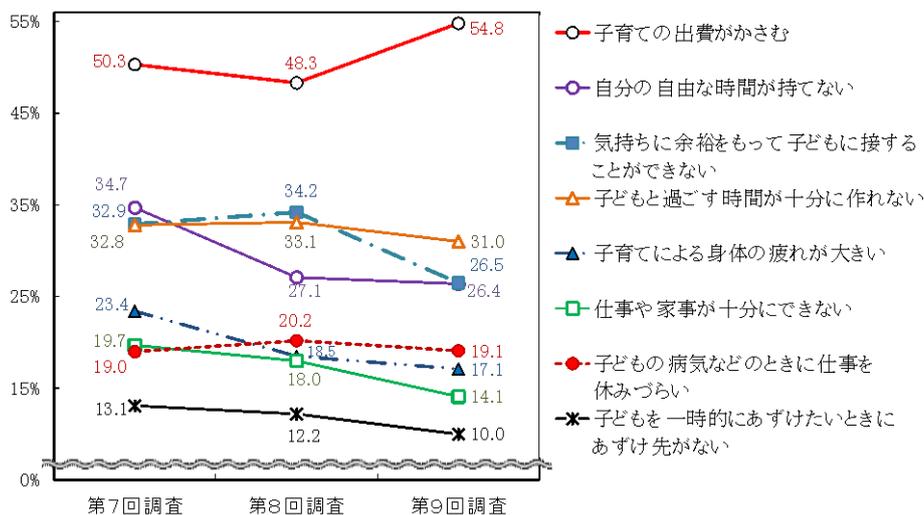
(4) 子どもを育てていて負担に思うことや悩み

「子どもを育てていて負担に思うことや悩み」について、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」をみると、「子どもと過ごす時間が十分に作れない」、「子どもの病気などのときに仕事を休みづらい」の割合が大幅に増加。

第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に「子どもを育てていて負担に思うことや悩みがある」と回答した者をみると、いずれの同居者構成においても7割を超えている。

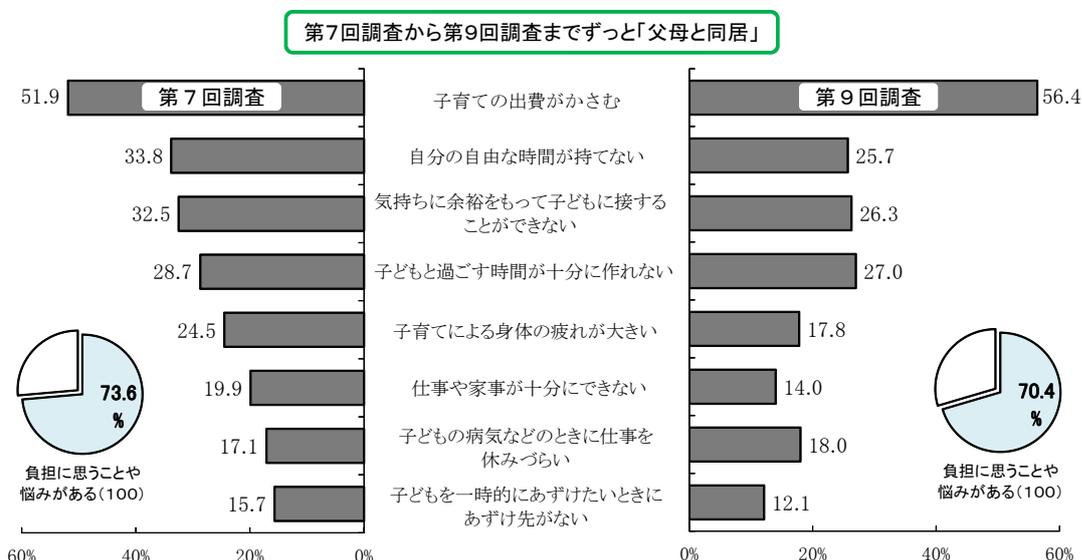
さらに負担に思うことや悩み（複数回答）をみると、「子どもと過ごす時間が十分に作れない」の割合では第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合は28.7%から27.0%と減少しているが、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、37.9%から42.8%と大幅に増加している。「子どもの病気などのときに仕事を休みづらい」では第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合は17.1%から18.0%と微増であるのに対し、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると、23.3%から31.2%と大幅に増加している。（図4-1、図4-2）

図4-1 子どもを育てていて負担に思うことや悩み(上位8項目、複数回答)

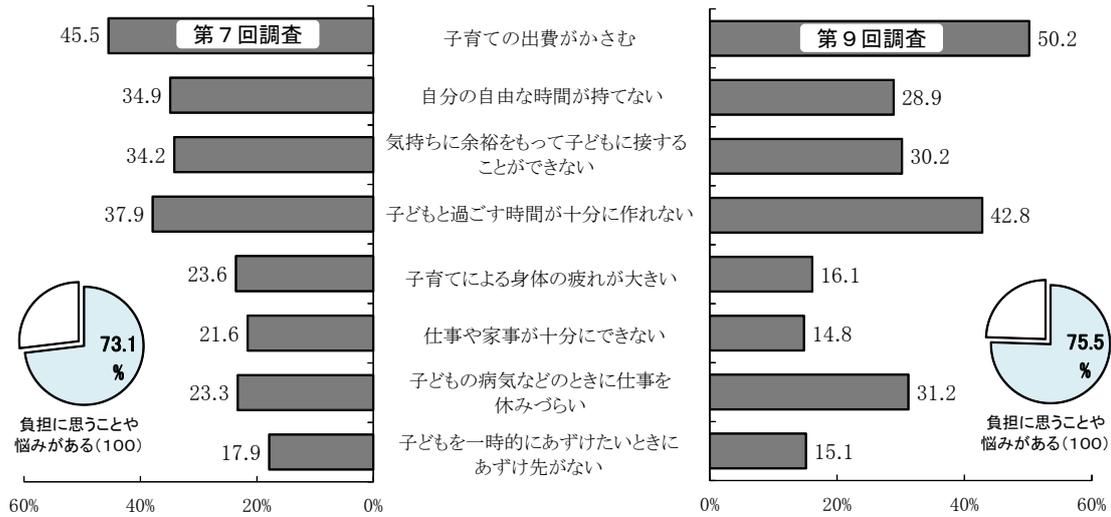


注：第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者（総数33,316）のうち、「子どもを育てていて負担に思うことや悩みがある」者をそれぞれ100として集計。集計客体は以下のとおりである。
第7回調査（総数24,496）、第8回調査（総数22,939）、第9回調査（総数23,380）。

図4-2 第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた子どもを育てていて負担に思うことや悩み(上位8項目、複数回答)

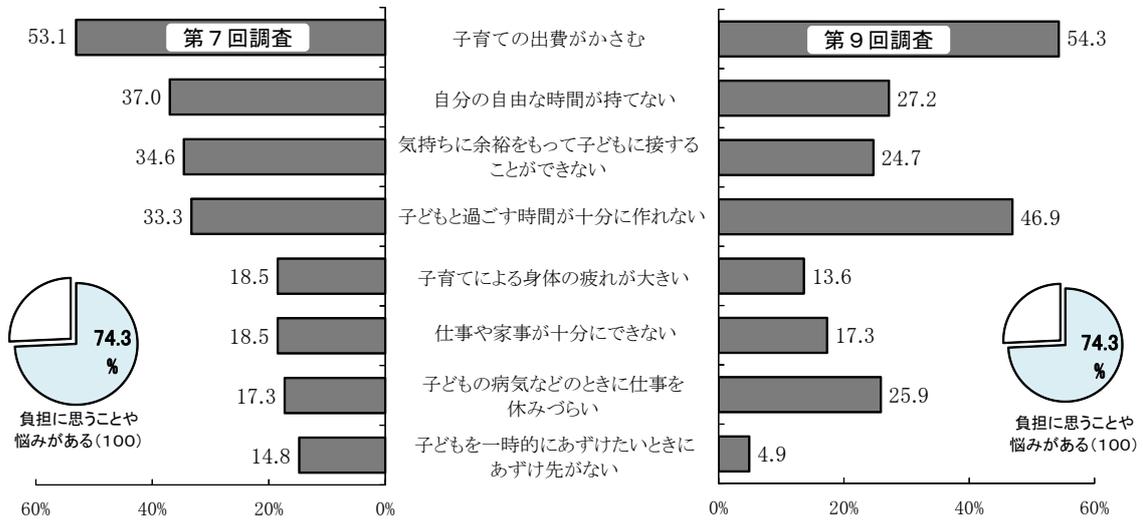


第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」

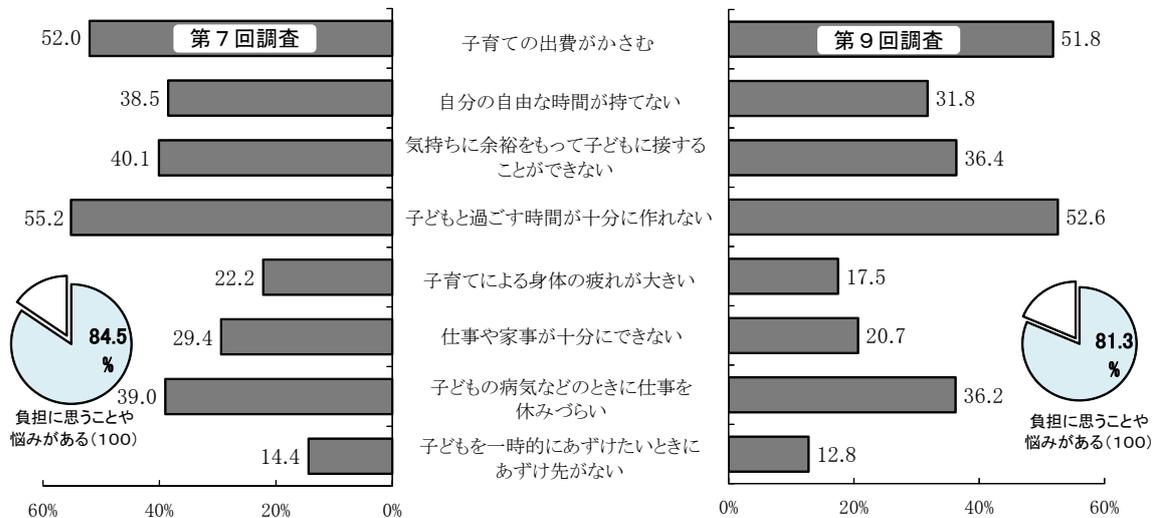


第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」

※ 調査客体数が少ないため、利用するには注意を要する。



第7回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」



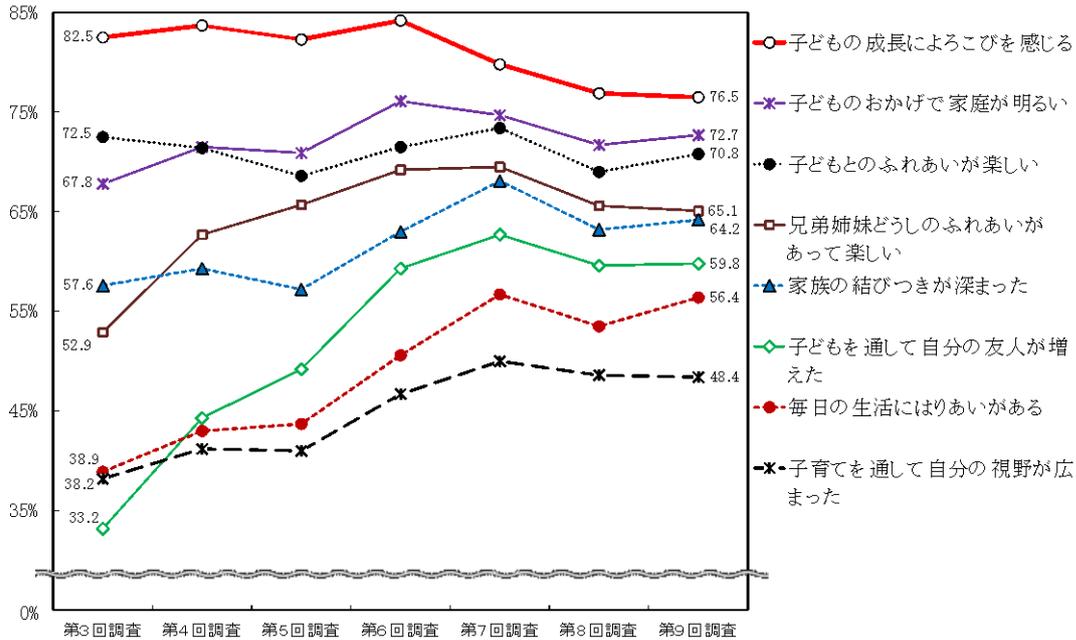
注: 第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 33,316)のうち、「子どもを育てていて負担に思うことや悩みがある」者をそれぞれ100として集計。集計客体は以下のとおりである。
 第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 22,638): 第7回調査(総数 16,670)、第9回調査(総数 15,946)。
 第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者(総数 412): 第7回調査(総数 301)、第9回調査(総数 311)。
 第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者(総数 109): 第7回調査(総数 81)、第9回調査(総数 81)。
 第7回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者(総数 964): 第7回調査(総数 815)、第9回調査(総数 784)。

(5) 子どもを育てていてよかったと思うこと

「子どもを育てていてよかったと思うこと」の変化をみると、第9回調査では第3回調査に比べて「子どもを通して自分の友人が増えた」は33.2%から59.8%、「毎日の生活にはりあいがある」は38.9%から56.4%と大幅に増加（図5-1）。

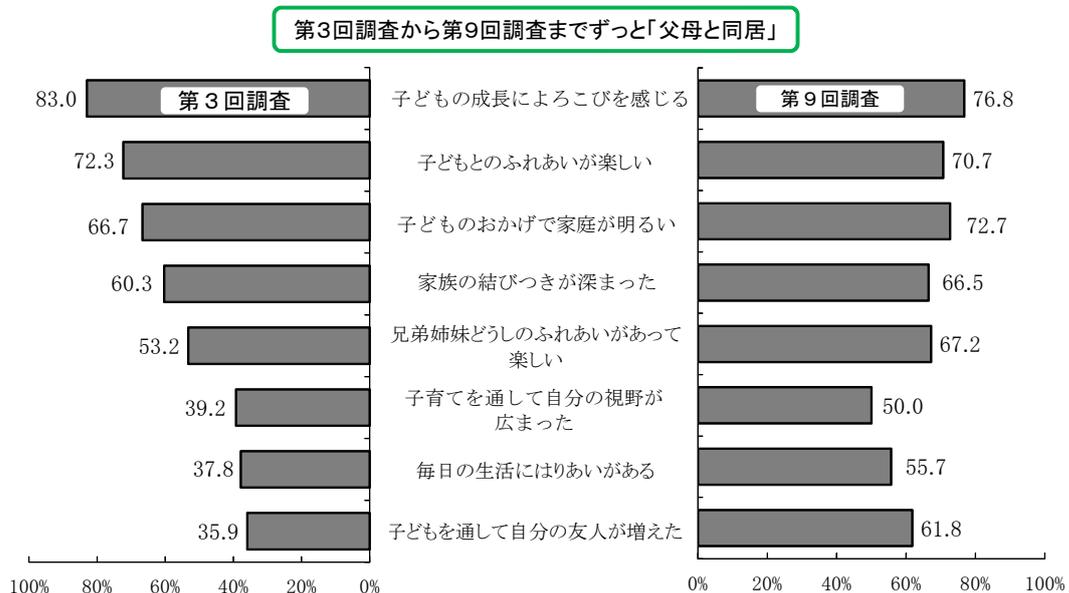
第3回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に「子どもを育てていてよかったと思うこと（複数回答）をみると、いずれの同居者構成においても第9回調査では第3回調査に比べて「毎日の生活にはりあいがある」、「子どもを通して自分の友人が増えた」をあげる割合が増加している（図5-2）。

図5-1 子どもを育てていてよかったと思うこと（複数回答）

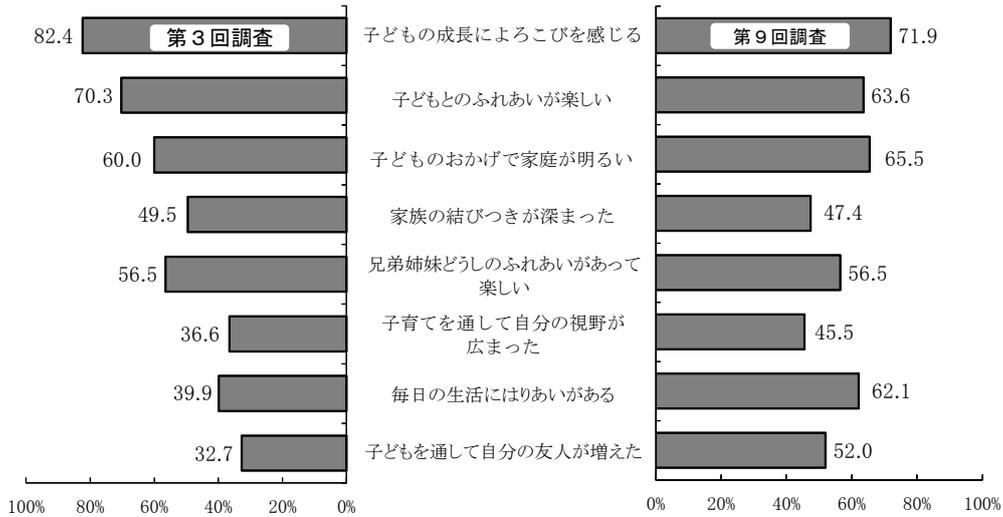


注：第3回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,614)のうち、「子どもを育てていてよかったと思うことがある」者をそれぞれ100として集計。集計客体は以下のとおりである。
 第3回調査(総数 31,347)、第4回調査(総数 31,296)、第5回調査(総数 31,338)、第6回調査(総数 31,294)、
 第7回調査(総数 31,336)、第8回調査(総数 31,070)、第9回調査(総数 31,407)。

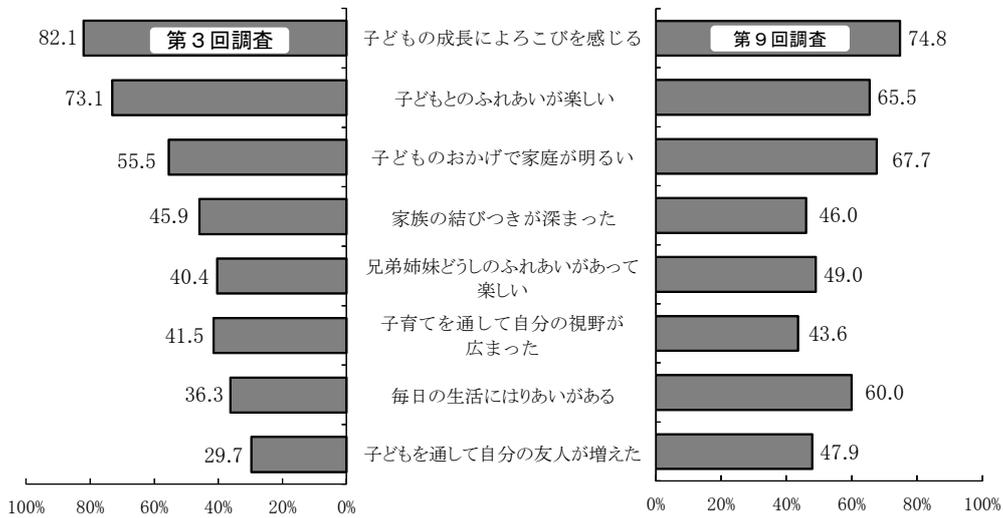
図5-2 第3回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた子どもを育てていてよかったと思うこと（複数回答）



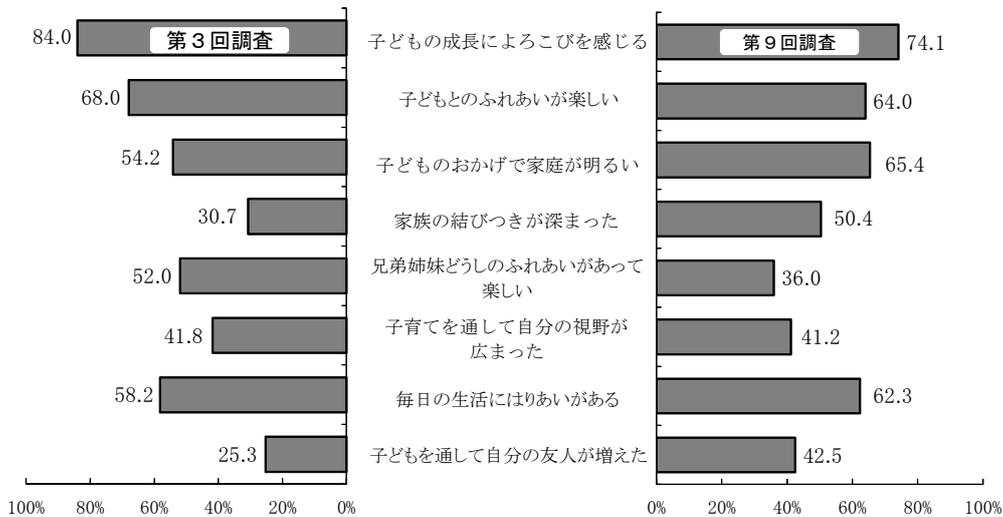
第3回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」



第3回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」



第3回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」



注: 第3回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 31,614)のうち、「子どもを育てていてよかったと思うことがある」者をそれぞれ100として集計。
 集計客体は以下のとおりである。
 第3回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 19,761): 第3回調査(総数 19,607)、第9回調査(総数 19,651)。
 第3回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者(総数 884): 第3回調査(総数 874)、第9回調査(総数 873)。
 第3回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者(総数 366): 第3回調査(総数 364)、第9回調査(総数 365)。
 第3回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者(総数 230): 第3回調査(総数 225)、第9回調査(総数 228)。

(6) 子育て費用

対象児の1か月の平均子育て費用をみると、第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合には第9回調査で3万5千円。第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると3万1千円。

第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別に1か月の平均子育て費用の金額をみると、「子育て費用」については第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合には第9回調査で3万5千円、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると3万1千円となっている。同様に「習い事等の費用」をみると、第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」していた場合には1万5千円、第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」になると1万4千円となっている。(表1)

表1 第7回調査と第9回調査の対象児の同居者構成別にみた
1か月の平均子育て費用、習い事等の費用

(単位:千円)

	各該当者の平均	
	子育て費用	習い事等の費用
第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」		
第7回調査	34	12
第9回調査	35	15
第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」		
第7回調査	33	12
第9回調査	31	14
第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」		
第7回調査	33	11
第9回調査	30	13
第7回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」		
第7回調査	33	12
第9回調査	33	12

注: 集計客体は第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数 33,316)のうち、集計客体は以下のとおりである。

「子育て費用」は「不詳」を除く者、習い事等の費用は「費用なし」と「不詳」を除く者をそれぞれ集計。

第7回調査から第9回調査までずっと「父母と同居」の者(総数 22,638)を集計。

「子育て費用」: 第7回調査(総数 22,108)、第9回調査(総数 22,472)。

「習い事等」: 第7回調査(総数 17,257)、第9回調査(総数 19,493)。

第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母のみと同居」の者(総数 412)を集計。

「子育て費用」: 第7回調査(総数 401)、第9回調査(総数 406)。

「習い事等」: 第7回調査(総数 282)、第9回調査(総数 282)。

第7回調査で「父母と同居」、第9回調査で「母と祖父母等と同居」の者(総数 109)を集計。

「子育て費用」: 第7回調査(総数 104)、第9回調査(総数 107)。

「習い事等」: 第7回調査(総数 70)、第9回調査(総数 68)。

※調査客対数が少ないため、利用するには注意を要する。

第7回調査から第9回調査までずっと「母のみと同居」の者(総数 964)を集計。

「子育て費用」: 第7回調査(総数 925)、第9回調査(総数 946)。

「習い事等」: 第7回調査(総数 507)、第9回調査(総数 645)。